

# 高 東京矢高会 ニュース

## 矢高卒業生会東京支部

### 総会が開催される。

5月16日(日)東京・五反田「ゆうほう」と「6階」葛蒲の間で 矢上高校東京支部 第35回総会が開催されました。神田恵介支部長(13期)の挨拶、当日邑南町から遠路ご参加頂いた辰田直久邑南町議会議長(30期)、飯塚修校長、渡辺生紀卒業生会会長から、矢上高校の近況とご挨拶を頂きました。

本年は役員改選の年ではありませんが、新任 太田耕造(18期)、副支部長就任案が承認されました。まず21年度の総会・国会議事堂見学・ゴルフ大会等の、事業報告と会計報告が、そしてその後22年度の事業計画・収支予算が、野球部東京後援会の報告があり、それぞれ承認され、太田耕造新副支部長の閉会の辞で総会が終了しました。

総会の中には渡辺生紀卒業生会会長に持つてきて頂いたゼオライト鉱石を使った「焼き芋器」から芋の焼ける いい匂いが会場に漂い、懐かしい、ほのぼのとした雰囲気でした。この「焼き芋器」は終了後

植田豊(13期)さんが購入されました。矢上高校の、この焼き芋が食べてみたい方は、港区六本木「レストラン一億」(03-3405-9891)。

引き続き、となりの会場で懇親会が行われ、服部真二(17期)理事の乾杯で和やかに始まりました。懇親会では毎に参加者がマイクを持ち、近況報告が行われ、矢上弁が飛び交いました。

前号、「矢上の方言」プレゼントコーナーの正解発表も行われ、正解された石川義之(5期)さん、本田博(10期)さん、八田一利(15期)さん、日野原信雄(17期)さん、酒井富雄(22期)さん、三宅伸二(29期)さん、にはそれぞれ記念品が贈呈されました。

また今回の懇親会では、今年、喜寿を迎えられる中村輝夫(4期)さん、渡辺生紀卒業生会会長(4期)、古稀の本田博(10期)さん、渡辺勤(11期)さん、還暦の飯塚修校長先生、三宅光寛(21期)さんに記念品が贈呈されました。

最後に石川義之(5期)さんより「良ちゃんの民謡が聞きたいけえ、唄おてもらおうじゃなか」との声が上がり、大羽登前支部長(6期)の紹介で三宅良二(35期)

ビクターレコード民謡歌手)がマイクの前に立ち、相撲甚句が披露されました。喜

寿や古稀・還暦を迎えられた先輩の名前が盛り込まれた先輩の名前が盛り込まれた御祝いの歌詞で、拍手喝采。盛り上がりを見せました。その後、榎昇(30期)

副支部長の音頭で校歌斉唱山本立身(15期)理事の万歳三唱が行われ、最後は原野未来将(53期)理事の閉会の辞で和やかな内にお開きとなりました。

参加者には前回に引き続き飯塚校長先生、渡辺卒業生会会長の「配慮で、矢高味噌が記念品として配られました。

他に出席者は、沖慶雄(特別会員)下瀬忠枝(5期)隅川和子・佐々木チズ子・後藤勝子・荒瀬淳・中村延枝(6期)渡辺勤(11期)高橋廣・(13期)岩岡忠夫・服部俊之(15期)日野原信雄・日向讓上田昭臣(17期)山田勅。

木村信恵(18期)伊東順子(23期)敬称略。



木村信恵(18期)伊東順子(23期)敬称略。

発行日 平成22年9月15日  
 号数 第3号  
 発行 矢上高校卒業生会東京支部  
 発行人 神田恵介 編集人 三宅良二  
 事務局 千葉市若葉区若松町  
 九〇二二二一五〇三

# 天の川と満天の星

矢高卒業生会東京支部長

神田恵介(13期 井原出身)

東京支部長の神田です。卒業生会会員の皆様には元気で暮らしていることとお喜び申し上げます。

今年の夏もまさに矢高応援歌にあるように「熱射骨焼く夏の真昼」の日々が続き熱中症で亡くなった方も出る日本列島でしたが、会員の皆様方にはお変わりありませんか。

(いこいの村から雲海)



今年久しぶりにゆつくりできてお盆は田舎に帰ってきました。8月14日には同窓会を中野の邑南病院の前にある石州庵で行い、16日には瑞穂の水明カントリークラブで野球部の同窓、後輩たちとゴルフもやりました。その日は香木の森で懇親会を行い、10畳、10畳、8畳の大きな古民家(平徳家)に泊まりました。最初はクーラーもついていないし大丈夫かなと思いましたが、全く関係ありませんでした。

夜は矢上の町にカラオケを歌いに行つて、帰り道に空を見上げると満天の星空で昔見たと同じ天の川が真上に白く帯を描いていました。織姫様と彦星がどれかはわかりませんが、まさしく田舎は天に近いと感じました。北斗七星とかオリオン座などの星座の分かる人には最高だったと思います。飲んではいかに私には星が天から降ってきたかという感じでした。

朝は香木の森の食堂から雲海がしっかりと見えました。最近北海道の方で観光客のために雲海予報を出しているとかいうテレビを見ましたが、原山に行つたらいつでも見えるのにも思つたところでもあります。

本日に田舎は空気が澄んでおり遠く山々までよく見え、自分

の目がよく見えるようになったと錯覚するほどでした。昼間は原山の向こうから昔見たと同じ入道雲がムクムクと出てきており、やっぱり田舎はええなあと懐かしんだところです。

是非皆様も機会があったら田舎に帰つて、矢上高校のグラウンドから原山を見ていただき昔を思い出して頂きたいと思っております。

東京支部もこれから秋、そして来春にかけて懇親イベントを実施して参りますので楽しみにしていただきたいと思います。お待ちしております。

今私も稲城市(新宿から京王線で若葉台駅下車)でノルディックウォーキングの無料体験会をボランティアで始めています。ノルディックウォーキングとは北欧フィンランド生まれで二本のポールを持つて歩くという誰にでもできるスポーツで腕を使うため前身体動になり普通のウォーキングとは20%ぐらいエネルギー消費量が違うというものです。メタボ対策とか、女性のシェイプアップには最適という事で、日本でも今除々にはやっています。興味のある方はまた一緒にやりましょう。

矢高卒業生会東京支部も楽しいことをこれからたくさんやっていきたいと思っております。皆様方のご協力を宜しくお願いします。

## 第二の人生

服部 豊(15期 出羽出身)

第15期卒の服部です。出身地は瑞穂町出羽です。今でも兄貴が運送業(出羽運送)を営んでいる関係で毎年5月の連休に里帰りしております。そして水明CCでプレイをして楽しんでおります。お陰様で水明CCの隅から隅まで頭に入っております。(ゴルフは下手ですけど人に迷惑を掛けずに楽しむことをモットウにしています。)ところで事務局より依頼を受けたので自分なりの第二の人生についてお話をします。平成17年三月に三共(株)を定年になり一年半OBとして勤務し始めて自分より下の人に仕え勉強になりました。

その後18年10月より昔の仕事の関係であるドクターと親しくしていたのでドクターの持つているハワイの別荘に遊びに行き二月後半充実した日を過ごしました。ホノルル界隈の探索とゴルフ回数二十五回、ハワイに行かれた方は多いと思いますが日本語は通じ食(物は寿司屋を始め何でもあり、特にマグロは美味です。その為ほとんど不自由しなかつたです。又ゴルフの話ですがハワイで自動車の免許証を取ると、現地人同様カマイヤ価格でゴルフが出来、通常百五十ドルが四十〜五十ドルで出来、又ホテルその他も同様です。その為一日間かけて取得、約八万円

かかりましたが回数で割ると安くなり  
ます。帰国後二ヶ月スポーツクラブ、テ  
レビ等で自由に過ごしましたが暇で暇で  
した。十九年より群馬県安中市にある  
本多病院で事務長職とし働き現在に至  
つております。当病院は正面に榛名山左  
側のはるか彼方浅間山、又病院の横には  
妙義山に囲まれた景色の良い場所にあ  
ります。又群馬は温泉も多く、軽井沢に  
は三十分で行けます。ゴルフ場も多く、  
安価であり、楽しんでおります。こちら  
の病院に來たのは、やはり親しくしてい  
たドクターに誘われて(信頼があつたの  
でしょう)楽しく働いております。人生  
は四十〜五十代は鼻たれ小僧、人生の本  
番は六十歳からと言われております。  
私も人生の本番を味わっていたのですが、  
昨年六十四歳で胃癌は見つかり昨年二  
月に胃切除半切しました。早期の為、  
その後順調に快復し現在は酒も飲め人  
並みの生活をしていきます。特に私はビ  
ールをこよなく愛しており人一倍飲んでい  
た関係もあると思います。今想うと胃  
が重く感じ、背中がつっぱる時が時々あ  
り、これはヤバイと思ひ自分の病院で胃  
カメラを撮ってもらつたところ、すぐ判  
明し、則手術となつたのです。やはり早  
期発見が良かったのです。是非皆様もこ  
の様な症状があつたらしく検査をして下  
さい。早期発見が出来れば現在の治療で  
は問題なく余後が安心です。以上第二の  
人生を書かして頂きましたが、人との繋

がりをすること、そして健康が一番です。  
また病気をすると女房のありがたさが  
つくづくわかります。以上下手な文で失  
礼します。

### 久しぶりのふるさと

竹内一昭(瑞穂3期 田所出身)

昨年中学校の同窓会があり出席しまし  
た。半世紀ぶりに会う同級生、会つてす  
ぐ分かる人、ぜんぜん分からない人、み  
んなそれぞれの人生を歩んだ顔でした。  
自分も十数年ぶりのふるさと帰り、町  
名も邑南町に変わりましたが、町並み  
もすっかり変わり、道路も新しく整備さ  
れ、よその町に來た感でした。

しかし旧道を通りますと、高校時代に  
駅伝で走り競つた事が懐かしく思ひ出さ  
れました。いろいろな事を考えながら町  
中を通っていますと小高い丘から、緑一  
色に囲まれた矢上高校の校舎が見えま  
した。

矢上高校の生い立ちが読売新聞に掲載  
されました。ご存じの方もいらつしやる  
と思いますが、

「矢上高校は一九四八年に創立、戦前、  
高等小学校を出ても経済的理由で進学  
できない子のためにできた村立青年学校  
が前身で高校創立時も住民がボランティア  
で整地し校舎用の木材も寄贈した」。  
母校が今も地域の人達とみそ造り指導  
をし、「石見高原みそ」として特産品まで

なり、また「焼サツマイモ」研究し高い評  
判を得た。その他にもハーブの研究をし、  
数十種類に増やした株を町民が育成し  
「香木の森公園」に移植され、二百四十  
種のハーブが育ち、訪れた人達を楽しま  
せている。自分もハーブ園に行きました。  
きれいでしたね。現在母校の卒業生もハ  
ーブ園で働いているそうです。新聞は最  
後に、「この地では高校生自らの手でふる  
里の未来を開いていく」と。

久しぶりのふる里帰り、何もかも変わ  
りましたが何故か空気が匂いは変わつて  
いない気がしました。来年また帰る予定  
です。

### ふるさとがある幸せ

中野 恭子(旧姓 本田)

(28期羽須美出身)

私が、矢上高校に縁あつて、入学させ  
ていただき、そして卒業してから、三十  
数年たちました。出身は、平成の大合併  
により、地図から名前が、消えてしま  
いましたが、邑智郡羽須美村です。(現在  
は、邑智郡邑南町です)家から通学する  
事が出来なかつた為、三年間寮生活をし  
ました。今では想像出来ないかもしれま  
せんが、当時の寮は、和室で一人一人に  
部屋の広さは、畳一畳半位だつたと記憶  
しています。高校三年生、二年生、一年  
生と四人位同じ部屋で、気を使い遠慮も

ありましたが、毎日規則正しい生活を、  
送る事が出来ました。今となつては、寮  
での生活が、なつかしい思い出です。

私は主人の転勤に伴い、千葉県に五年、  
兵庫県に七年、そして現在の所沢に住ん  
で、十数年になります。高校生の頃に比  
べれば、自由で、何でも便利になり、有  
りがたい事ですが、その分日々の生活に、  
追われている気がします。

いつも、田舎に帰ると思う事ですが、  
一日二十四時間が、田舎と都会では、異  
なつた流れを感じます。都会での生活の  
疲れを、癒してくれるふるさとがある  
事は、とても幸せな事だと思つていま  
す。時代は変わつても、ふるさとの風景は、い  
つ迄も変わらなずに、いてほしいと願つて  
います。人間関係が、希薄になつたと言わ  
れる現代ですが、人と人の絆を大切に、  
これからの生活を、頑張っていきたいと  
思います

今後、矢高会東京支部が、益々発展し  
ていくことを、祈念しております。

### お陰様で

酒井 富雄(22期中野出身)

島根県から出て東京での生活が40年と  
なり、すっかり東京人のような言動をし  
ながら日々生活している現在です。私自  
身「卓球が大好きで卓球メーカーの株  
式会社タマスに入社し、今なお勤務中で

す。矢上高校卒業後すぐに寮生活が始まりましたが当時世界チャンピオンの長谷川信彦さんと同室となり「心技体の日頃の努力を目の前にしました。また、今まで国内外のチャンピオンと接することが出来ました。皆さんもよく存知の福原愛選手の練習量や精神力には頭が下がります。愛選手は幼少の頃から礼儀や躰を二両親から厳しく教育され、今や日本中のみならず国際的にも有名となり活躍中です。

さて、昨今の日本は殺伐とした世の中ですが、「幸抱」「気配り」「忍耐」が大切だと思います。私自身「数年は、今まで元気に過ごせたことに感謝感謝です。一九九八年から9年間プロ野球ジャイアンツでプレーした酒井純也(私の兄の三男)は矢上会の方には温かいご声援を頂き、現在は広島三菱重工野球部に所属しております。私は出張も多く各地でいろいろな方とお会いしますが、若さの秘訣は「ワーク」「ドキドキ」「ハラハラ」があれば精神的にも老いることが少ないと聞きました。また「字を書く」「恥をかく」「汗をかく」ことは心身共に健康の為には大切とのこと。なかなか矢上会に今まで出席できませんでしたが、出席時には温かい声を掛けて頂き皆様ありがとうございます。今後とも宜しくお願い申し上げます。

# 矢上高校野球部

## 東京後援会の誕生と想い

八田 一利(15期矢上出身)

今夏の全国高校野球選手権大会は、連日の猛暑の中で行われ、沖縄興南高校が春夏連覇の偉業を成し遂げて閉幕しました。

大会期間中は、全国の多くの人達とりわけ日頃から野球に縁のない人をも高校野球の虜とし、老若男女を問わず興南高校の圧倒的強さに酔い溺りました。高校野球の神髄は、選手一人一人の試合に取り組みひたむきな姿勢にあります。言葉では表現できない魅力が私たちの心を惹き付けるのです。

今年の島根県大会における矢上高校野球部の活躍は、組み合わせの上では二回戦が初戦となり、情報科学高校に十対五で打ち勝ちましたが、三回戦で宿敵浜田高校に七対四で破れました。卒業生の皆様から物心両面でのご支援を賜りましたこと、この紙面をお借りして衷心よりお礼を申し上げます。

浜田高校戦と言えば、今から十二年前の島根県大会での決勝戦を思い出します。それは現在、プロ野球ダイエーホークスで活躍している和田投手を擁する浜田高校と、元読売巨人軍の酒井投手、社会人野球(三菱重工広島)で活躍している森

脇投手・伊東外野手を擁するわが矢上高校との息詰まる戦いのことです。結果は母校が一点差で涙を吞み、手中にしかけていた甲子園の切符を失ったのです。

実はその年の、五月の卒業生会東京支部総会の席上で、卒業生会代表の渡辺生紀様から、野球部が今年甲子園に行ける可能性が大きいので、地元町民(旧石見町)を含めた後援会を発足させたとの話がありました。既に広島地区、関西地区に地区後援会を組織してもら

うよう働きかけているので、関東地区に住む卒業生の皆さんにも是非協力してもらいたいとの強い要請を受けたのです。そこで早速13期卒業生神田恵介様(現卒業生会東京支部長)を中心に協議し、東京後援会を立ち上げたのです。かくして地元町民を巻き込んだ矢上高校野球部後援会が誕生しました。

先述した浜田高校との決勝戦では、矢上高校が必ず勝つものと信じ、決勝の数日前から神田東京後援会会長のもと、密かに甲子園での応援計画が練られていたのです。関東一円の卒業生に呼びかけて甲子園関東応援団を組織することと、バスを手配することを検討していました。その計画が「浜田高校に敗れる」の知らせで、甲子園行きの夢が一瞬にして消え

失せ、それでも残念な思いをした

ことを未だに覚えています。

近年では少子化も手伝って、甲子園行きはチャンスはなかなか得られません。それでも毎年皆様からの厚い寄付がナイの心に刻み野球部員として活躍できた喜びやチームとしての和の尊さ、誰とも交わさずの挨拶やあらゆるものへの感謝の念など無形の財を身に付けて、彼らは立派な社会人として羽ばたいています。卒業生のこれからの活躍を長い目で楽しみにしたいと思っています。今後とも野球部東京後援会のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



# 平成二十二年度

## 年会費の御礼とお願ひ

本文部の経費は、皆様方からの会費・寄付金で運営されております。本年度会費をお納め頂きました方、ありがとうございます。昨年より一口千円として何口でもお納め頂くことができるようになりました。まだの方はどうぞ宜しくお願い致します。各行事の時にも申し受けますが、ゆうちょ銀行からの振込の場合は手数料がかりません。

### 会費一口千円 何口でも

口座番号〇〇一四〇〇〇七二二七七  
金融機関からの振込用 口座番号  
ゆうちょ銀行〇一九(ゼロイチキョウ)店  
当座 〇〇七二二七七

口座名 矢上高校卒業生会 東京支部

平成二十二年会費納入者芳名

十口一万円 神田恵介(13期) 田部恵子(12期)

五口五千円 中村輝夫(4期) 高橋廣(13期) 渡辺勤(11期) 八田一利(15期)

四口四千円 木村信恵(18期)

三口三千円 楠利文(5期) 石川義之(5期) 渡辺正己(14期) 三次学(29期) 酒井高雄(22期) 後藤勝子(6期) 椿満男(8期) 戸司恵美子(27期) 服部俊之(15期) 隅川和子(6期) 山本立身(15期) 三宅兵衛(9期) 服部豊(15期) 三宅弘文(12期)

岡本博仁(15期) 石橋紀美子(11期) 三宅伸二(29期) 柳瀬百合子(8期) 藤橋百合恵(21期) 山本信子(13期) 森脇清(17期) 下瀬忠枝(5期) 荒瀬淳(6期) 日向讓(17期) 佐藤直子(26期) 福岡幸雄(13期) 山藤喜六(3期) 雨谷寿子(13期) 日高昭敏(12期) 敬称略

二口二千円 山本賀代子(32期) 宮田勝(14期) 加藤精子(12期) 日野山勉(10期) 中村延枝(6期) 森脇好恵(16期) 斉藤均(19期) 竹内一昭(瑞穂3期) 渡利勇(4期) 月森敏雄(32期) 山田裕三(39期) 伊賀美穂(21期) 野田明弘(瑞穂14期) 佐々木チズ子(6期) 三宅和子(17期) 濱田逸子(14期) 岩岡忠夫(15期) 三宅光治(10期) 本田博(10期) 荒瀬恵子(35期) 大羽登(6期) 日野原信雄(17期) 山田勲(18期) 太田耕造(18期) 稲川寛子(20期) 前島ナヨ(1期) 中山正雄(21期) 中野恭子(28期)

一口千円 中村幹子(26期) 倉持桂子(14期) 海野隆(6期) 洲浜豊和(12期) 小林千賀(13期) 日野勇夫(瑞穂7期) 枝久保美千恵(10期) 坂根節男(13期) 中森勝三(13期) 門屋邦子(12期) 稲田 隼(8期) 宇津本由紀子(8期) 吉里輝子(13期) 飯田恵美子(7期) 日野原紀世子(13期) 日野原育生(8期) 花本保博(10期) 森岡武(10期) 小屋保子(6期) 神田信子(23期) 三宅雅寛(23期) 久長瑞枝(5期) 一谷邦男(9期) 伊丹里美(11期) 椿美津枝(13期) 梶常子(7期) 八田志津江(21期) 江藤洋子(13期) 上田昭臣(17期) 竹内常年(18期) 上田律子(21期) 山崎照夫(14期) 植原稔子(10期) 沖美知江(18期) 沖征広(14期) 日野修治(17期) 伊東篤(15期) 岡本

博仁(15期) 石橋紀美子(11期) 三宅伸二(29期) 柳瀬百合子(8期) 藤橋百合恵(21期) 山本信子(13期) 森脇清(17期) 下瀬忠枝(5期) 荒瀬淳(6期) 日向讓(17期) 佐藤直子(26期) 福岡幸雄(13期) 山藤喜六(3期) 雨谷寿子(13期) 日高昭敏(12期) 敬称略

## 矢上の方言

はあ 忘れとりんさろうが たまにやあ 矢上弁、思い出しちゃんさいよ。ちゅう目的で「こしらえました」矢上の方言。

前号の問題「ろく」なところ「難しかったかいのお?」「そこをろくにしちゃんさい」「ろく」じゃないけ登るのがしゅわいののお? 正解は「平」

「平坦」ちゅう意味でした。矢上ゆう出んさつて、都会の方が、はあ長、こうなつとりんさるけえ、忘れんさつたんだらう。

総会に、来ちゃんさりやえかつたんだが、用事で来んさらんかつた正解有は、

天川千賀子(旧姓小笠原、22期) 岡野美佐枝(旧姓奥7期) 倉持桂子(旧姓竹内14期) 室永和子(旧姓日高、瑞穂6期) 辻井道子(旧姓服部、11期) 久長瑞枝(5期) 日野勇夫(瑞穂7期) 洲浜豊和(12期) 上田昭臣(17期) 藤橋百合恵(旧姓原田21期) 八田志津江(旧姓高畑21期) 藤本秀子(旧姓片桐21期) 三宅雅寛(23期) 渡辺誠(18期) 渡利

勇(4期)。敬称略 上田昭臣(17期) 先輩は総会に「出席頂きましたが、事務局の手違いで、会場で進言できず大変失礼しました。許しちゃんさい。記念品は抽選で10名の方としておりましたが、今回は全員の方に記念品をお送りしました。次回はぜひぜひ都合をつけて総会に来ちゃんさい。私も矢上高校を卒業して二十余年

こちらでの生活の方が長、こうなつと矢上に帰りやあ「あか抜けんさつた」と言われ、東京じゃあ「田舎っぽいのがいい」と言われる一人です。

矢上弁を思い出しんさつたら、教えちゃんさい。宜しゅうお願ひします。

21期 三宅雅寛(23期) 渡辺誠(18期) 渡利

本秀子(旧姓片桐21期) 三宅雅寛(23期) 渡辺誠(18期) 渡利

ICHIOKU



AI ICHIOKU  
TAKAFUMI  
YUTAKA UEDA



東京都港区六本木4-4-5  
TEL (03) 3405-9891  
一徳★堂  
URL http://www.pinpoint.ne.jp

出光興産特約店

# 辰田産業(有)

島根県邑智郡邑南町中野758番地  
(事務所) ☎95-0317 (第1給油所) ☎95-0562  
FAX 95-2089 (第2給油所) ☎95-0443

### 第3回東京矢高会

### ゴルフコンペのご案内

昨年引き続き、ゴルフコンペを開催します。今回こそは2組以上での開催にしたいと思ひます。(えつと来ちゃんさい)

### 日時 11月13(土)

集合 午前8時30分  
スタート 9時8分

### 場所 川越グリーンクロス

埼玉県川越市上谷本郷八六五―一  
班〇四九―三六―二二二

美女木IC〜高速埼玉大宮線与野IC

クラブバス JR南古谷駅右手側

埼玉県信用金庫から運行

(お迎え 七時 七時四十五分)

プレイ代金 一八、五〇〇円

(食事代別・各自精算)

懇親会費 三、〇〇〇円

### 東京スカイツリー (建

### 設中) 見学会のご案内

会員の皆様の親睦をはかる、新しいイベントをこれからも企画していくこととしております。その第3弾として、今建設中の東京スカイツリー。完成すると六百三十四メートル、高いですが、原山よりは低いようですが、今回はこの東京スカ

イツリーの見学会を開催します。絶好のスポットで写真撮影も。大勢のご参加をお待ちしております。

### 12月4(土)

### 時間 午後二時三十分

### 集合 京成線 押上駅 改札

終了後には忘年会を兼ね懇親会を予定しております。

### プレゼントコーナー

「為せばなる 為さねばならぬ 何事も 為さぬは人の為さぬなりけり」こりや米沢藩の殖産振興の名君と言われ、現代でも通ずる危機を乗り切るリーダー像として有名な上杉鷹山の言葉ですが、矢上弁にもありました。「なす」。

「なさにやあいけまあ」「なしんさ」「早よおなせ」と使われる「なす」。「なさにやあ」場合によりやあ、喧嘩にもなる、この矢上弁の「なす」。これが今回の問題です。正解を書いた皆さんの中から抽選で5名の人に「えなもの」をあげようと思っております。期待しちゃんさい。必ずハガキで返事ゆうしちゃんさいよ。待つとるけえ。

### 前号の訂正とお詫び

楠 利文(五期 日和出身) さんからの寄稿文、最後のところ「おしまいの夢。甲子園で高歌を聞きたい。」正しくは「校歌」でした。浦田庸子(六期 矢上出身) さんからの寄稿文中、産土(うぶすな)の雨は大粒の子汁、正しくは 産土(うぶすな)の雨は大粒の子汁、でした。

総会開催の案内文中、邑智町、正しくは 邑南町でした。

(矢上諏訪神社の舟石)



### 編集後記

月日の経つのは本当に早いもので今年もアツという間に九月です。今年の夏はこのほか猛暑が続きました。いかがが過ぎでしょうか。私は今年のお盆は、渋滞の中、車で帰省してきました。片道約九百km。地域の夏祭りでは、一番遠くから帰省したと言うことで、お土産を頂きました。平成の合併で、邑南町になり、大きくなったふると。今回は行けませんでしたが、羽須美や千丈溪に一度行ってみたいと思ひます。

今号も原稿をお願いしましたところ、快く引き受けて頂きました。本当に有難うございました。掲載の写真は神田恵介支部長、酒井富雄(2期)先輩にお送り頂いたものです。有難うございました。この場をお借りして御礼申し上げます。次回は来年3月の予定です。皆様からの原稿をお待ちしております。テーマは何でも。また個別にお願いさせて頂きますが、その節にはご協力の程、どうぞ宜しくお願いいたします。

十分注意しておりますが誤字脱字や、見ずらいところもあろうかと思ひます。どうぞお許し下さい。お気づきの点がありましたら何なりと申し付け下さい。

暦の上では秋ですが、今年に残暑が厳しく暫く暑い日が続きます。どうぞご自愛下さい。

三宅 良二(35期 矢上出身)